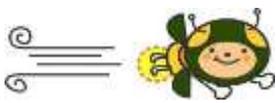


国崎クリーンセンター啓発施設指定管理業務 業務の実施状況及び見学者の状況

(令和3年度 概要版)

目次

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 事業運営の状況 | 1 |
| 2. 運営事業の実施状況 | 2 |
| (ア) 学ぶ・知る 機会の提供 | |
| (イ) 地域と連携 | |
| (ウ) 広める活動 | |
| (エ) その他 | |
| 3. 事業運営体制 | 9 |
| (ア) 運営体制 | |
| (イ) 職員のスキルアップ | |
| 4. 見学・貸館状況 | 10 |
| (ア) 見学・出前での利用状況 | |
| (イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む) | |
| (ウ) 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策 | |
| 5. 13年間の人数・売上推移 | 12 |
| 6. 収支状況 | 13 |



1.事業運営の状況

国崎クリーンセンターゆめほたるは、地域の皆様と共に持続可能な社会へ向けた活動を継続し開設以来13年が経過しました。お陰様で、10月に啓発施設開設以来の総利用者が30万人に達しました。これまでの地域とのつながりに支えられ、地域の皆さまに親しまれ、施設への期待をますます強く感じております。スタッフ一同、地域への感謝と共にさらなる事業活動の充実を図りたいと考えています。

令和3年度は昨年度同様新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、まん延防止対策や緊急事態宣言などによる各種制限の中、チーム一丸となって事業運営に取り組みました。

まず、小学4年生の団体見学に於いては、昨年度同様、ガラスびん3R促進協議会提供のパンフレットを配布しガラスびんの3Rについての解説、SDGsパネル前では食品ロスについての啓発を継続しています。ゆめほたる里山クラブの協力を得て、里山学習を希望された学校に対応し、里山と保全活動の必要性、蜂のお話など、森と海のとつながりなどの環境学習コンテンツも増えています。

フリーマーケットは、コロナ禍のため5月、6月、9月の開催を中止し、12月と3月に多目的広場で実施しました。無料シャトルバス運行も継続し、モルック体験やビッグバンドコンサートを同日開催とするなど、にぎわいを創出し、さらにリユースの輪を広げる様に努めました。

夜の自然観察会などは時間を繰り上げて実施、飲食を伴う講座等を延期するなど、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて各関係者にご協力を賜り、管理業務及び運營業務ともに概ねご提案以上の内容で履行できたものと考えます。

『もったいない』を合言葉に進めてきた第3期の5年間は、地域団体との連携を深め、獣害対策セミナーや里山保全技術者養成講座の開催、SDGsを絡めた啓発活動など多面的な環境学習施設運営へ向けて進化しております。また、利用者からのご要望に応えた椅子の張り替えや日傘作りは、新たな魅力あるアップサイクル講座となりました。これまで通り、利用者の声を真摯に受け止め、それを形にし、ごみ減量化や持続可能な社会へ向けたゆめほたるの地道な活動は、地域の皆様のライフスタイルの見直しや具体的なアクションへと移り、地域に浸透しているものと感じております。

今後も、地域の皆様からのご期待やご支援を大切に、職員一同、感謝の気持ちで事業活動の更なる充実を図る所存です。

2. 運営事業の実施状況



(ア) 学ぶ・知る機会の提供

環境について“学ぶ”機会や場を提供する

地球レベルでの観点から、自分を取り巻く生活レベルでの近接的な観点まで、人間の活動と地球環境の変化のかかわり、自らのライフスタイルと自分の住んでいる地域とのかかわり、そして地域の人と自然とのかかわりを学んでもらう機会や場を提供しています。

団体見学対応・調整

コロナ禍において、日程や内容など変更が多々生じましたが、各団体のご要望に柔軟に対応しました。SDGs やリターナブルびんについての解説なども盛り込み、持続可能なライフスタイルについて一緒に考え、自分事に捉えてもらえるよう努めました。令和3年度の1市3町小学4年生の団体見学は、23校1,624名でした。その他の団体見学は26団体、85件、731名。



企画展示

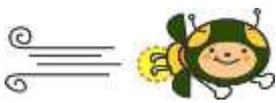
ロビーや見学通路を利用し、多角的な視点で環境について考えてもらえるよう啓発に努めています。11月の講演会に合わせて『里山から考える海洋ごみ展示コーナー』を新設しました。



講演会 講師を招いて、講演会形式で環境に関心のある人や活動を考えている人たちへの情報発信と、必要な情報を入手できるような場を提供しました。コロナ禍によりオンラインでのLive中継や動画での配信など、利用者サービスに努めています。

- ① 7月24日「獣害対策セミナー」 京都大学准教授 高柳 敦氏
- ② 11月6日「さとびと・まちびとが出会うとき」近畿大学総合社会学部 田中 晃代教授
- ③ 11月7日「人と里、そして海」兵庫県立人と自然の博物館 中瀬 勲館長
- ④ 11月7日「人と里海、そしてプラスチック」京都大学大学院地球環境学堂 浅利 美鈴准教授
- ⑤ 11月7日「海ごみの最新情報と展示紹介」京都大学大学院地球環境学堂 浅利研究室 益田 明奈氏
- ⑥ 3月20日「マンガだから届く地球からのメッセージ」環境マンガ家 本田 亮氏
- ⑦ 3月20日「環境漫画」と高等教育機関における学際教育」北京第二外国語大学教授 陶 冶氏
- ⑧ 3月20日「環境まんがへの期待」京都大学名誉教授 高月 紘氏

*⑥⑦⑧は9月フリーマーケットの代替事業



ゆめほたる講師による講座

一市三町に在住または勤務されている方を中心に、本啓発施設で行われるリサイクル系のワークショップ教室で指導いただく講師を募集・登録し、多くの講師に活躍いただいています。講師登録者 43名(令和4年3月末時点・更新含む)

| | 回数 | 参加人数 | 内容 |
|--------------------------------------|----|------|--|
| 里山木工教室 | 39 | 187 | 里山間伐材・廃材・廃家具活用でアップサイクル。 |
| 椅子の張替え教室 | 11 | 74 | 実習によるスキルアップと物を大切にする暮らし方の啓発。 |
| レザーリメイク | 39 | 482 | 不用レザー製品から必要な物へアップサイクル。 |
| 和布リメイク (帯リュック、日傘作りを含む) | 32 | 209 | 不用な着物や和布を小物や吊飾りへアップサイクル。 |
| 廃ガラスで遊ぼう、トンボ玉 | 25 | 92 | 廃ビンをランプや小物にアップサイクル。 |
| エコクッキング | 4 | 25 | 鍋帽子でエネルギー削減、地産地消のデコ巻きでエコクッキングを実践。 |
| 星空のタベ | 1 | 32 | コロナの関係で11月にジャズと星空のタベとして実施。自然を楽しみ、環境啓発。 |
| 親子分解ワークショップ | 3 | 68 | 親子で小型家電を分解し素材ごとに分別する。分別体験により、様々な部品から作られていることを知り、分別啓発を行う。 |
| 里山フラワーアレンジメント | 11 | 171 | 季節の花で環境意識の醸成。 |
| 里山ヨガ | 24 | 272 | 里山を眺めながらのヨガで環境意識の醸成。 |
| 環境科学技術塾 | 11 | 193 | micro:bitプログラミングや回路について学ぶ。 |
| 珈琲の楽しみ方教室 | 6 | 32 | 里山と珈琲を楽しむ。2回はけやき資料館と連携。 |
| カホンレッスン会 | 10 | 50 | 木工教室で作成したカホンで演奏練習。3月は猪名川町のイナワイと合同発表会を実施。 |
| クラフトバンド | 11 | 65 | 再生紙でできたエコな素材で身の回りの小物を作る。 |
| 環境映像クリエイター塾 | 5 | 22 | 地域の魅力発信方法として映像作りを学ぶ。 |
| ナイフメイキング | 11 | 55 | 世界に一つだけの道具作り。制作を通して刃物の正しい知識、使い方、手入れの仕方も学ぶ。 |
| 布ぞうり教室 | 1 | 8 | 古Tシャツからお財布にも環境にやさしい布ぞうりを作る。 |
| 親子科学実験教室 | 1 | 10 | 科学の世界を楽しく体験。最後にモノづくりも実施。 |
| 自然観察会 | 1 | 10 | 国崎クリーンセンター内や近隣での自然観察会。 |
| 246件 2,057人 前年度参考 228件 1,338人 | | | |

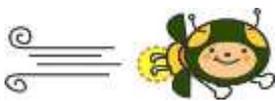
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年4月25日～5月11日まで講座実施を見合わせました。



(イ) 地域と連携

地域と一緒に取り組む

| | 開催日 | 連携先 | 内容 |
|----|-----------------|---|-----------------------------------|
| 1 | 5月15日 11月20日 | 能勢ネイチャーランド(KYOEI)(能勢町) | バードウォッチング 星のお話 |
| 2 | 6月26日 9月25日 | けやき資料館 ありなし珈琲 | 珈琲の楽しみ方教室 |
| 3 | 8月22日 12月19日 | コラッジョ川西サイクリングチーム | 第8回・第9回北摂里山スプリントヒル クライム大会 |
| 4 | 9月25日 | イオンモール猪名川 | SDGs展示 クラフトバンドワークショップ 風呂敷体験 |
| 5 | 10月26日 | 知明湖キャンプ場 | 環境映像クリエイター塾 施設紹介動画 撮影 |
| 6 | 9/25~10/28 | 豊能町立図書館 | ガラスの大箱 『和布リメイク展』 |
| 7 | 10月1日 | 一庫公園 | SDGs研修 |
| 8 | 10/25~10/29 | 川西緑台高等学校 PTA | フードドライブ |
| 9 | 11月6日~ 7日 | 京都市南部クリーンセンター環境学習 施設(さすてな京都)、 京都超 SDGsコンソーシアム(京都市、 京都大学他)、 近畿大学田中晃代研究室、 NPO北摂里山文化保存会 | オンライン配信 北摂里山の日 2021 |
| 10 | 12/5 3/6 | 川西モルックの会 | ファミリーフリーマーケットでのモルック 体験 |
| 11 | 2月25日 | 【コロナ禍中止】猪名川天文台運営委 員会 | 冬の天体観望会 |
| 12 | 11/23 12/16 | 黒川 (兵庫県モニターツアー) | 里山ワークショップ、お茶席体験 |
| 13 | 3月26日 | 猪名川町イナワイ | 手作りカホンでの合同発表会(ゆめほ たカホーンズ&イナワイ) |



(ウ) 広める活動

広く情報発信し、広く交流する

情報発信

ごみの分別、フードドライブ、講座の様子、里山保全活動について情報発信を継続しています。11月7日の北摂里山の日では、海ごみ問題について取り上げ、それと併せて館内に『里山で海ごみ問題を考える』展示を新設しました。啓発地域の里山活動団体や企業、地域内の施設等と連携し、活動発表等をオンラインで発信しました。

12月にはフリーマーケットを多目的広場内において実施しモノを大事にする暮らし方の普及啓発活動に努めました。

ブログでの情報発信



屋外フリーマーケット

12月と3月に新型コロナウイルス感染症対策を施し、多目的広場でフリーマーケットを実施しました。リユース活動を通じて、モノを大事にする住民の交流の場を提供しました。12月は52ブース、3月は40ブースの出店がありました。無料シャトルバスを運行し、来場者への利便性に配慮しました。リユース家具の無料抽選会やお子様向けの紙芝居形式での分かりやすい里山学習、モルック体験、コロナの関係で延期となったビッグバンドコンサートを同日実施する等、様々なメニューにより来場者サービスに努めています。*5月のもったいないマーケットと6月のフリーマーケットに関しては、コロナの影響により中止とし、代替事業として環境情報センターの本棚増強とごみ減量啓発動画を制作しています。



広報の実施状況

① 新聞・情報誌・netへの広報

| 地域情報誌 | 新聞 | 会員誌 | ウェブサイト | FAX リリース | TV・ラジオ | 雑誌 | 総数 |
|-------|----|-----|--------|-------------|--------|----|----|
| 6 | 3 | 1 | 9 | 64 | 1 | 2 | 86 |

② ブログ（※月別の掲載数） <http://kuniccyume.exblog.jp/>

及び メールニュース(※月別の情報発信数)

| R3年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 小計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| ブログ | 7 | 13 | 21 | 15 | 8 | 11 | 16 | 15 | 15 | 7 | 5 | 12 | 145 |
| メールニュース | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 13 |

③その他の広報告知

フェイスブック <https://www.facebook.com/92yume>

ホームページ <http://kunisakicc.jp>

facebook 連動で講座案内・ごみ減量アイデア等の情報発信を行いました。
また、積極的なプレスリリースを行い様々なメディアでご紹介いただきました。



(エ) その他

① サイクルフェスタ

健康増進とエコを同時にかなえる自転車の大会を実施する
地域のサイクリングチーム『コラッジョ川西サイクリングチーム』
との共催「北摂里山スプリントヒルクライム大会」(8月、12月)を開催。



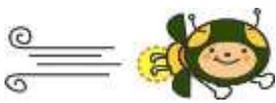
② 地域貢献をめざす「環境情報センター」の活動について

地域に貢献する環境教育や環境学習についての研究を行う組織として啓発研究組織「環境情報センター」の活動を継続しています。「持続可能な社会形成」という本施設の目標に向けた道標と位置付け、ゆめほたるの啓発活動に関わる人々の知恵や経験を集成し、研究会や紀要の発行などを通して、今後の啓発活動に役立つ成果を探求しています。

- 廃棄物資源循環学会・環境学習施設研究部会（環境学習施設を考える会）事務局
より良い施設運営へ向けた活動として、全国の環境学習施設とも交流を図り、研修会等を実施しています。「環境学習施設を考える会」（平成28年12月7日設立）は、廃棄物資源循環学会の研究部会として承認され、学会の研究部会として活動しています。国崎クリーンセンター啓発施設ゆめほたる「環境情報センター」は、その事務局を担っています。

【 日時：10月25日 第5回環境学習フォーラム / 企画展示・WEB展示 】

- 講演会 「リチウムイオン電池を含む電子機器による発火」講師：公益財団法人 容器包装リサイクル協会 プラスチック容器時業務 清水健太郎氏
- 講演会 「マンガで環境問題を学ぼう！」京都大学名誉教授 高月 紘氏
- 企画展示 「施設のコロナ感染対策 ポスター展&WEB展示」
「廃棄バッテリー等の処理不適物防止啓発、不適処理の実物サンプルと写真の展示」「世界のごみ箱」「ハイムーンの環境まんが」「環境学習テーマに繊維ごみ資源化も」



③ クラブ活動支援

各工房での地域住民のクラブ活動および国崎クリーンセンター内里山保全活動をサポートしています。

ゆめほたる里山クラブ、里山クラブ木工班、エコッキングクラブ、トンボ玉クラブ、ガラス R+、そばクラブ、環境科学技術クラブ、ゆめほたかホーンズ、里山ナイフメーキングクラブ、里山わんだふるくらぶ、Bicycle Project、石ころ（鉱石）クラブ、エコサポーター



④ コンテスト・コンクール開催



4月～8月

環境イラストコンテスト / 全応募 87 作品の展示
ストーリー部門応募 16 作品（最優秀賞 1、審査員特別賞 1、佳作 2 作品）
ポスター部門応募 71 作品（最優秀賞 1、審査員特別賞 2、佳作 3 作品）

8月1日～9月23日
読書感想文コンクール

全応募 18 作品
最優秀賞 4、優秀賞 4、
ゆめほたる賞 2、入選 1

⑤ フードドライブ

令和 3 年度に地域の方からご寄付いただいた食糧品は、10 件 62.3 k g でした。地域のこども食堂へ寄附しました。



⑥ 里山林維持管理事業の協力 [活動内容]

国崎クリーンセンター敷地内里山林の保全活動を行っています。活動は里山保全技術者養成講座修了生（ゆめほたる里山クラブ）と啓発施設が N P O 法人日本森林ボランティア協会の協力のもと行っています。

保全はハード面の森林整備と、ソフト面の環境学習の場の提供をあわせて行っています。当敷地の里山林の大きな特徴である、里山利用の形跡とその後の放置林化での問題点の両方があることと、エドヒガン群落、坑道群の 2 つの文化財が存在することを通して、利用者に

環境啓発できるように保全活動で森林整備と併せて知識の研鑽も行っています。
R3 年度は、里山林を利用した小学校の体験学習の指導や、催事の運営も活発になってきました。

- 活動期間：4月～3月
- 活動場所：自然学習ゾーン
- 定例活動：シカ柵点検・補修、スズメバチトラップ設置及び点検回収、エドヒガン実生サブ
リカード設置、危険木対策、危険木点検・マーキング、倒木処置、枯損木伐倒処置、下草刈
り、エドヒガン苗点検、ベンチ作り、サイン板製作、外来雑草抜き取り、樹名札設置、丸太
階段補修、樹名札設置、エドヒガン苗保護柵設置、間伐材の玉切り搬出、落葉清掃、エドヒ
ガン公開地周辺整備



定例活動 倒木処置



定例活動 整地（ベンチ設置）



定例活動 エドヒガン実生 養生

■ 定例活動以外の活動内容

1. スキルアップ講習会「獣害柵点検補修講習会」の実施
2. 小学校体験学習の指導
3. 催事“森あそび”・“エドヒガン見学会”・“自然観察会”の開催
4. ガンピ（シカ不嗜好植物）育苗
5. 除間伐材の利活用



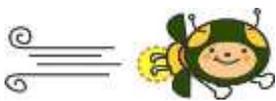
“森遊び”の様子



林内サイン

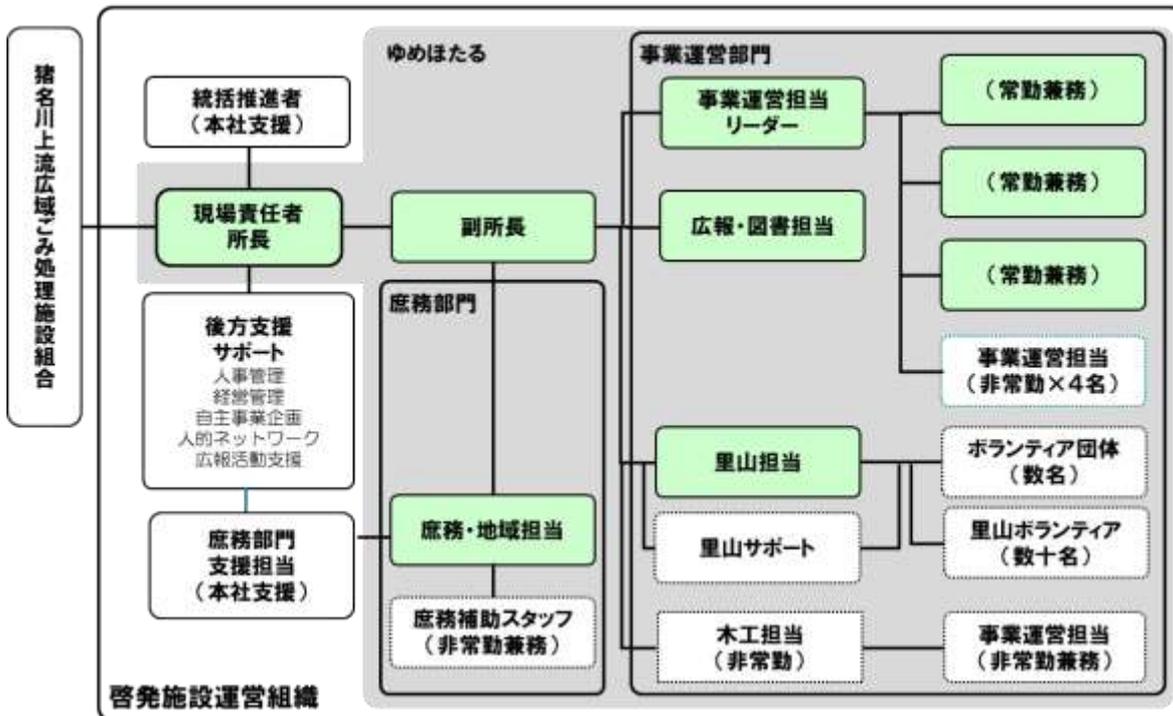


林内サイン・ベンチ



3. 事業運営体制

(ア) 運営体制



(イ) 職員のスキルアップ

各種環境系の検定等を受験し、知識向上へ向けた努力を継続しています。

【環境系 検定等合格者一覧】

| | | | | |
|-----------------|----|---|---------------|----|
| エコ検定 | 6人 | ／ | 3R・低炭素社会検定 | 5人 |
| 環境カウンセラー | 2人 | ／ | 環境社会保全士 | 1人 |
| ふろしき包み結び指導者 | 1人 | ／ | リユース販売士 | 1人 |
| カラーコーディネーター3級 | 1人 | ／ | 家具製作技能士2級 | 1人 |
| 家具製作技能士1級 | 1人 | ／ | 罫猟狩猟免許 | 1人 |
| ドローン検定3級 | 4人 | ／ | ドローン検定2級 | 2人 |
| ドローン検定1級 | 2人 | ／ | こども環境管理士2級 | 1人 |
| 地球温暖化防止コミュニケーター | 1人 | ／ | インテリアコーディネーター | 1人 |
| 職業訓練指導員 | 1人 | ／ | 環境教育インストラクター | 1人 |
| 木材加工用機械作業主任者 | 1人 | ／ | うちエコ診断士 | 1人 |

4. 見学・貸館状況

(ア) 見学・出前での利用状況

| 月 | 総利用者数 | 見学 出前 | 各室利用 | 備考 |
|-------|---------------|--------------|--------------|-------------------------------------|
| 4月 | 531 | 172 | 359 | 一般見学、各種講座 |
| 5月 | 587 | 119 | 468 | 一般見学、各種講座、多目的広場利用 |
| 6月 | 1,548 | 454 | 1,094 | 小学校団体見学、各種講座、一般見学、多目的広場利用 |
| 7月 | 2,469 | 897 | 1,572 | 小学校団体見学、各種講座、多目的広場利用 |
| 8月 | 1,138 | 613 | 525 | 小学校団体見学、夏休みワークショップ、多目的広場利用 |
| 9月 | 967 | 311 | 656 | 小学校団体見学、各種講座、多目的広場利用、地域出前 |
| 10月 | 2,336 | 1,266 | 1,070 | 小学校団体見学、各種講座、多目的広場利用、地域出前、 |
| 11月 | 1,607 | 661 | 946 | 地域連携オンライン催事、小学校団体見学、多目的広場利用 地域出前 |
| 12月 | 1,531 | 295 | 1,236 | 催事、各種ワークショップ開催、多目的広場利用 |
| 1月 | 509 | 201 | 308 | 各種ワークショップ、一般見学 |
| 2月 | 500 | 160 | 340 | 各種ワークショップ、一般見学 |
| 3月 | 1,708 | 407 | 1,301 | 催事、各種ワークショップ、オンライン講演会 |
| 令和3年度 | 15,431 | 5,556 | 9,875 | (単位:人) |
| 前年度比 | 113.9% | 96.4% | 126.8% | |



(イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む)

| 施設名称 | 利用回数 (件数) | 利用者数 (人) | おもな利用 |
|------------|--------------|---------------|---------------------|
| 研修室 | 96 | 3,105 | 団体見学、各種講座 |
| 軽作業室 | 66 | 436 | 講座、ワークショップ、クラブ活動等 |
| 制作工房 | 63 | 276 | 講座、ワークショップ、クラブ活動等 |
| 修理工房 | 127 | 1,091 | 講座、ワークショップ、クラブ活動等 |
| 講座室 | 12 | 119 | 川西市出前講座、会議、講師控室 |
| 視聴覚室 | 4 | 31 | 会議使用、自衛消防訓練、講師控室 |
| 会議室 | 8 | 240 | リユース家具内覧、抽選会 |
| 多目的広場 | 70 | 5,968 | 屋外フリマ、少年サッカー、少年ラグビー |
| 合 計 | 446 | 11,266 | |

*1 団体が同日に複数の施設を利用した場合、施設毎に回数と人数を計上しています。

(ウ) 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

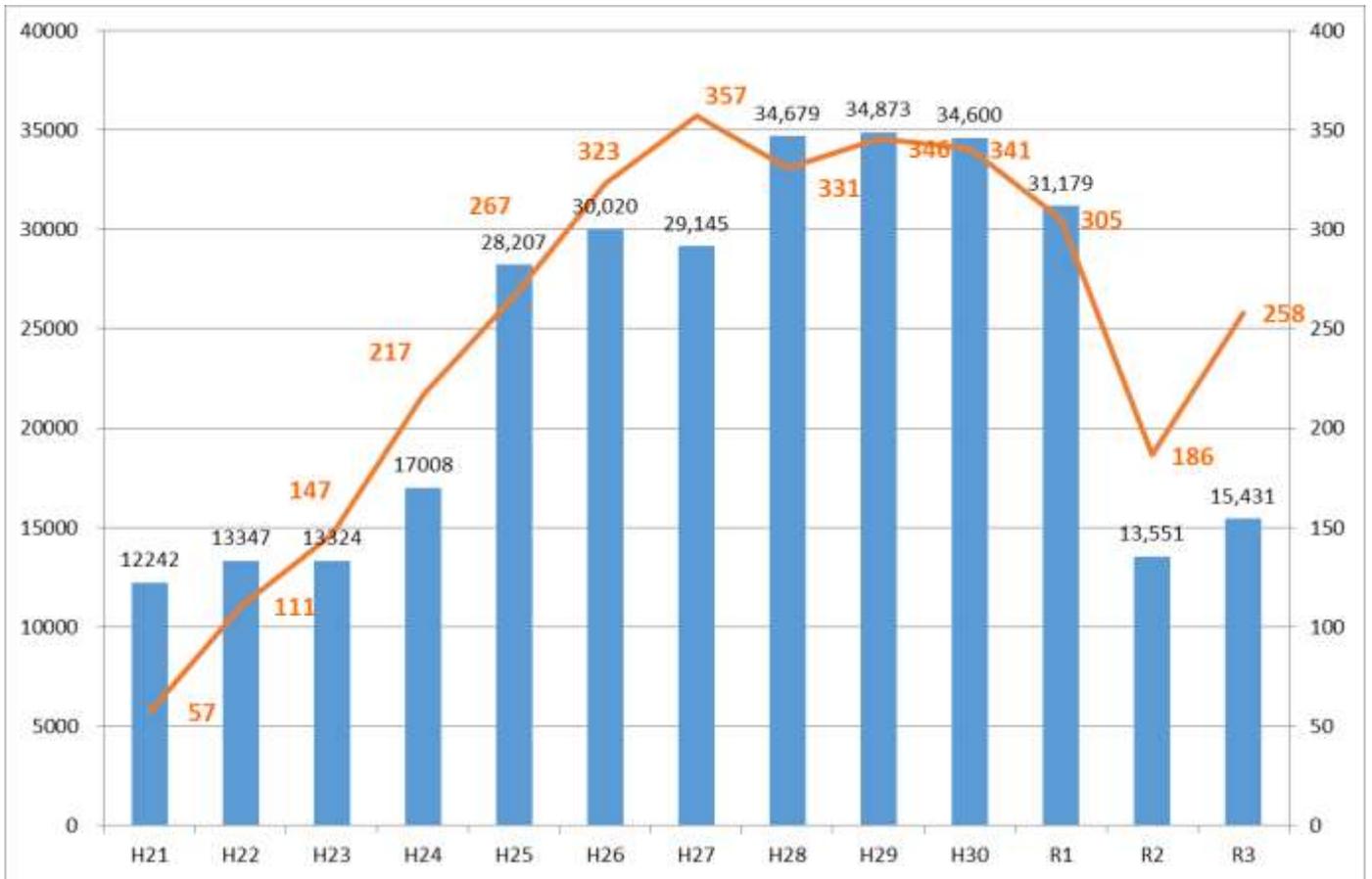
- 4/1 ~ 4/24 制限を設け運営 (催事中止、一般見学・クラブ活動・講座のみ対応)
- 4/25 ~ 5/11 制限を設け運営 (催事中止、一般見学のみ対応)
- 5/13 ~ 6/20 制限を設け運営 (催事中止、一般見学・講座対応、貸室を再開)
- 6/21 ~ 8/18 制限を設け運営 (催事中止、一般見学・講座対応、団体見学再開)
- 8/19 ~ 9/15 制限を設け運営 (催事中止、一般見学・講座対応、団体見学休止)
- 9/16 ~ 9/30 制限を設け運営 (催事中止、一般見学・講座対応、団体見学再開)
- 10/1 ~ 3/22 制限を設け運営 (催事は屋外、一般見学・講座対応、飲食を伴う活動再開)
- 3/23 ~ 通常運営 (館内飲食再開、消毒・マスク着用は継続)

5.13年間の人数・売上の推移

折れ線：売上推移 (万円)
棒：利用人数推移 (人)

(人)

(万円)





6.収支状況

| 国崎クリーンセンター啓発施設運営指定管理事業の実施に係わる収支状況（令和3年度） | | | |
|--|------------|-----------|------------|
| 収入(円) | | 支出(円) | |
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 指定管理料 | 67,219,930 | 人件費 | 39,536,838 |
| 講座・講演会参加費等 | 1,598,600 | 事務費 | 3,419,599 |
| 雑収入 | 983,253 | 物件費 | 2,016,925 |
| | | 管理費 | 4,962,587 |
| | | 事業関連費 | 8,405,438 |
| | | 一般管理費 | 5,114,779 |
| | | 中計(支出総合計) | 63,456,166 |
| | | 消費税 | 6,345,617 |
| 合計 | 69,801,783 | 合計 | 69,801,783 |